

Q3

献血をすると体のことが分かるって聞いたんですけど。

A

はい、ご希望の方には、血液検査の結果をお知らせします。



血液センターでは、すべての献血者に血液検査（生化学検査）を行うため、献血者が体の健康状態の把握をすることができます。またその結果は、外部に漏れることなく、献血者本人にのみお知らせをするようになっています。自分では気が付かなかった病気が献血時の検査で見つかり、早く適切な治療を受けることで大事に至らなかつたケースも数多くあります。

Q4

400ml献血と成分献血を勧められるのはなぜですか？

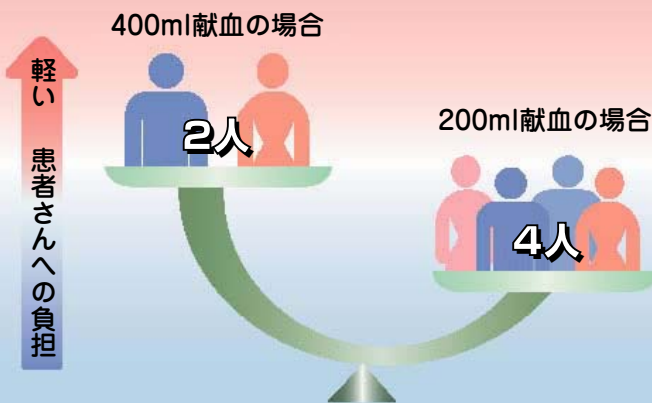
A

量の確保という面だけではなく、輸血の安全性を高めることにつながるからです。

輸血を受ける患者さんにとって、なるべく少人数の献血者の血液を使用する方が血液を介する感染の危険性も少なく、体への負担が軽いことが分かっています。よって、400ml献血や、一度に多くの血小

800mlの輸血に必要な献血者数

400ml献血は患者さんの副作用発生の可能性が低く、安全性が向上します。



板製剤や血漿製剤をつくることができる成分献血は、患者さんにとってより安全であると言えます。また成分献血では、体の中で回復するのが遅い赤血球成分は献血者に返すので、献血者にとっても体の負担が軽いのです。しかし、400ml献血と成分献血は、18歳未満の方はすることができません。18歳になってからご協力ください。